



# クリーンエネルギーへの移行：化学製品

## 持続可能な変化のバロメーター

化学業界は、クリーンエネルギーへの移行という要件が化学業界そのものだけでなく、化学業界と密接な関係にある幅広い業界にも影響を及ぼしていることを示す優れたバロメーターになります。化学薬品メーカーは、エネルギー集約型のプロセスや原料の一部として、大量の燃料を消費します。再生可能エネルギーへの移行やクリーンで持続可能な原料の採用（使い捨てプラスチックの代替品を見つけるなど）は、業界に直接影響を及ぼし、業界の運営方法に大きな変化をもたらすでしょう。

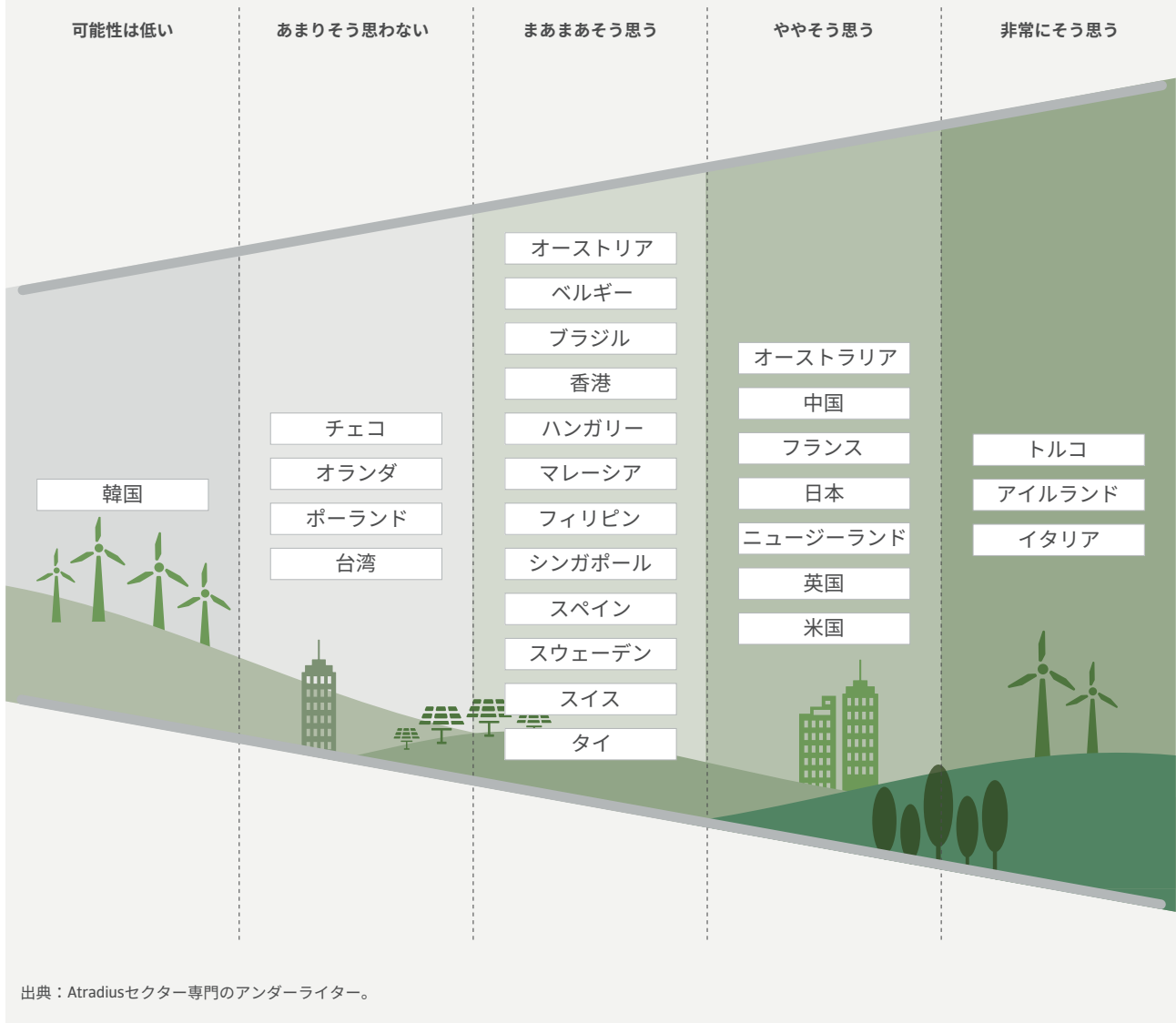
さらに、化学薬品は、下流工程の産業やセクターにサービスを提供しています。たとえば、電気自動車（先端プラスチックやシリコンチップなど）、農業（農薬や肥料）、医薬品の材料提供はその一例です。これらのセクターに影響を与える変更や指令は、化学業界にとっても切り離せない重要事項です。

今後3年間は、過去1年間のエネルギー価格の高騰や景気低迷から脱却する一方で、持続可能性への投資が必要になるため、業界全体にとって非常に重要です。60か国以上が使い捨てプラスチックの禁止と課税を実施しており、多くの国が

持続可能性のロードマップの一部に化学物質を含めています。たとえば、EUの持続可能な化学物質戦略は欧州グリーンディール政策の一環です。米国のインフレ抑制法には、環境負荷の少ない代替手段を構築するための補助金や奨励金が含まれています。しかし、すべての市場によって状況は異なるため、持続可能性に関する法律の遵守要件もさまざまです。



再生可能エネルギーソリューションは、今後3年間で、収益、顧客需要、雇用を増加させ、化学薬品セクターに利益をもたらすことができるのでしょうか？



**アトラディウスのアンダーライターは、この地域のセクターの主な問題は何だと考えていますか？**

世界各地のアトラディウスのアンダーライターにインタビューし、今後3年間の各市場におけるクリーンエネルギーへの移行が化学業界にどのような影響を与えるかを尋ねました。たとえば、EUの企業持続可能性報告指令（CSRD）や、米国のCHIPS、科学法、インフレ抑制法など、各国政府は現在、気候変動対策計画を強化しています。多くの企業にとって、こうした法令の施行は、事業の発展を促進する機会になります。断熱材、ソーラーパネル、EV向け資材など、化学製品に対するニーズの高まりもその一つです。しかし、現場の状況はどうなのでしょう？企業は2026年までにコンプライアンスを達成できるのでしょうか？

アイルランドのアンダーライターにとって、回答はきっぱりとした「イエス」でした。それ以外の地域では、肯定的な回答は得られませんでした。オーストリア、中国、フランス、マレーシア、オランダ、スイス、トルコでは、現実的なのは「部分的な規制遵守」だと感じており、タイとフィリピンの回答は、市場がまったく軌道に乗っていないことが示唆しています。興味深いことに、フィリピンのアンダーライターは、

現地企業がコンプライアンス違反が原因で、消費者からのボイコットを受けたり、ブラックリストに載る可能性は低いと認めています。また、調査においてフィリピンは「今後3年以内に、持続可能なサプライチェーンに向けたコラボレーションが実現する可能性は低い」と回答した唯一の市場でもあります。

持続可能な製品に対する消費者の需要は高まっているものの、それがすぐに業界の新規事業につながるとは限りません。オーストラリア、中国、ニュージーランド、トルコのアンダーライターは、自国の市場で新たな見込み客を獲得できる大きなチャンスがあると考えています。しかし、ハンガリー、韓国、マレーシア、スウェーデン、アメリカの場合は、消費財の成長見通しについては悲観的な見方をしており、フィリピンは「可能性は低い」という回答でした。ブラジル、フランス、アイルランド、シンガポール、ハンガリーのアンダーライターは、デジタルツールやAIによってビジネスチャンスがもたらされる可能性を指摘し、ハンガリーのアンダーライターは、グリーン製品ラベルや格付けによる潜在的なメリットを強調しました。

**課題：今後3年間の同セクターの最も差し迫った課題は何でしょうか？**

### 1. 移行のコスト

新しいテクノロジーやクリーンエネルギーへの投資には、高い資本コストがかかります。現在、燃料価格の高騰によって経費が上昇する中、借入費用が高く、資金が相対的に不足しているため、特に中小企業にとって、これはさらに困難となっています。

### 2. 規制とコンプライアンス

環境規制の強化に伴い、クリーンエネルギーに移行する余裕があるかではなく、移行しない余裕があるかが問われることになるでしょう。環境規制の厳格化は、化学製品企業に対する規制当局の監視が強化されることを意味し、コンプライアンス違反に対する罰金の発生や風評被害のリスクもあります。

### 3. グローバルサプライチェーンのナビゲート

化学業界は取引を行うサプライチェーンが長くなる傾向があり、地政学的混乱（関税や貿易制限など）や各市場での政府による法規制の格差に対して特に脆弱です。

**ビジネスチャンス：今後3年間に起こり得る同セクターの最大のチャンスとは何でしょうか？**

### 1. 持続可能性への需要の高まり

安全で持続可能な製品に対する消費者の需要が高まり、大きなビジネスチャンスをもたらすでしょう。環境に配慮した製品、再生可能エネルギーソリューション、廃棄物の循環型ソリューションに対する需要は世界的に拡大しています。エネルギー集約型産業である化学産業は、石油・ガス価格の変動の影響を受けやすく、費用対効果の高い代替品にメリットを見出す可能性があります。

### 2. 研究開発におけるデジタル変革

AIなどのデジタルテクノロジーは、業界全体の研究開発プロセスを変革しています。これは、持続可能な新しいプロセスや製品の発見と開発、新市場の開拓、エネルギー効率やサプライチェーン管理などの分野の改善に役立っています。

### 3. 先端材料への投資

化学業界におけるクリーンエネルギー投資は成長機会を生み出していますが、これは化学業界分野に限った話ではありません。電気自動車や太陽光発電などの下流工程向けの先端材料の需要も、化学業界にチャンスをもたらします。

### 今度はどこに向かうのでしょうか？

世界の化学業界は、2024年末までに、新興市場とアジアからの需要に牽引され、おそらく3.1%程度の回復を遂げると考えられます。インフレの緩和とエネルギー価格の引き下げによって、ある程度の成長は引き上げられるでしょう。ただし、クリーンエネルギーへの移行、デジタル化、循環型プロセスの導入、持続可能なソリューションの実施には、多額の財政投資が必要になります。業界の変化に伴って、こうした流れに取り残される企業も出てくるかもしれません。



ソーシャルメディアでアトラディウスの公式アカウントをフォロー  
[youtube.com/user/atradiusgroup](https://youtube.com/user/atradiusgroup)  
[linkedin.com/company/atradius](https://linkedin.com/company/atradius)  
[twitter.com/atradius](https://twitter.com/atradius)

アトラディウス  
David Ricardostraat 1  
1066 JS Amsterdam  
P.O. box 8982  
1006 JD Amsterdam  
The Netherlands  
電話：+31 (0)20 - 553 91 11

[info@atradius.com](mailto:info@atradius.com)  
[www.atradius.com](http://www.atradius.com)